



# やまゆり

学校だより

令和5年5月9日  
10号  
学校長 杉本賢二

校訓 「和の心」  
学校教育目標 「社会に貢献しながら自立する生徒の育成」一気づき・考え・実行するー  
校内研究主題 「WEBQUを活用し、学級の安定と活性化を図る」

学校教育重点目標 「健やかな身体の育成」

## 新型コロナ感染防止へのご理解とご協力をお願いします

5月8日から、新型コロナウイルスの感染症法上の分類が季節性インフルエンザと同等の「5類」になりました。この対応により、「社会や経済活動」においては大きなプラスの変化が予想されます。実際5月の連休中の人の賑わいは、全国各地でコロナ前の状態に戻りつつあると各紙で報道されていました。社会が活性化するのは歓迎すべき事です。喜びたいと思います。

しかし、コロナ対策の5類への移行は、感染症対策をするのは国や県ではなく、個人の取り組みが基本になったということをしっかり理解したいと思います。なぜならば、法律上5類に移行したからといって、コロナが収束したわけではないからです。実際に、コロナ感染が増加傾向にあり、大規模な「第9波」の予測もあります。

このような事から考えられることは、感染防止の努力は今後も必要であるということです。

学校では、教育の継続が何より重要です。今後は、1・2年生の宿泊学習・総合体育大会等が計画されています。また、学級閉鎖や学校閉鎖等が起こると学力保障に支障が出ます。

また、コロナ感染による「後遺症」の問題があります。5月2日の山日新聞には「子どもの後遺症3、9%」と見出しが大きく出ていました。発症から1ヶ月以上経っても続く、発熱・せき・嗅覚障害・倦怠感(けんたいかん)・入院や長期欠席が続く児童・生徒のことが報告されていました。

※ コロナ感染の子ども4606人のデータ分析 日本小児科学会

さらに、重症化リスクの高い高齢者や基礎疾患のある人への感染です。道志村は、高齢者が多い地域です。小中学生の感染が、高齢者や基礎疾患のある家族の感染に繋がることを何よりも学校として恐れています。

経済や社会、学校を活性化させるためには、引き続き「感染防止の努力が必要」です。

ご理解とご協力をお願い致します。

政府にコロナ対策を助言する専門家から公表された

## 「新たな健康習慣」

- 1 体調不安があれば自宅療養か受診
- 2 外出時はマスクを携帯して必要があれば着用する
- 3 不特定多数の人のいるところでは換気と3密回避をする
- 4 生活習慣としての手洗いをする
- 5 適度な運動と食事

学校の教職員がコロナウイルスに感染すると、5日間は学習指導ができません。また、複数の教職員が感染すると指導が出来ないために学校閉鎖の可能性もあります。さらに、生徒に感染させる可能性もあります。そこで、病院の医師・看護師などと同じように本校の教職員は今後、しばらくの間マスクをして勤務しています。重ねて、ご理解とご協力をお願い致します。

## 赤い羽根共同募金・歳末助け合い運動への協力のお礼



道志村社会福祉協議会より、令和4年

度の「赤い羽根共同募金」と「歳末助け合い運動」の本校の9.567円の募金に対してお礼と報告がありました。

出来る範囲の助け合いによって、世の中に貢献していけたら良いと思います。

保護者の方々のご理解とご協力にも感謝致します。

ありがとうございました。

## 道志中の先輩の連休から学ぶ

過去を見つめる事は未来をより良く生きること

限られた人数の中で生活する道志中の生徒にとって、一番の課題は多様な考えをもつ人に出会うことが少ないということです。また、固定した人間関係を保つためには同調と付度(そんたく)が必要であり、何よりも「安定」を求める傾向があります。

しかし、少人数の中で安易な「安定」を求め続けると高校や大学、社会で活躍する力を身に付ける事が難しくなります。今回は過去に指導した道志中の先輩の連休の思い出を紹介します。

目に見える物が事実ではなく、言葉が認識を創り、事実を創っていきます。書くとは、自分を見つめ、自分と周囲の人間との関係の中にある真実や社会を認識する行為でもあります。当時の国語の授業で5日間の休み中の価値ある出来事を表現してもらいました。字数は入試用作文と同様240字。全て15分で書いた作品です。

### 「 あきらめなかった結果 」 1年女子

ゴールデンウィーク中のスペシャル番組で、「エジソンの人生」という番組を見た。エジソンは、世界で初めて電球を発明したことで有名ですが、子どもの頃は勉強も運動もあまり得意では無かったそうである。そればかりか、学校までもやめてしまった。しかし、その後発明に興味をもち、人生をかけての大発明をして有名になったのである。電球は、今でも私たちの身近にある。だから、エジソンは今でも私たちの心に生きているのだ。あきらめずに努力し、大きな発明をたくさんしたエジソンを私は見習いたいと思う。

評 感動は、身近な生活の中に潜んでいる。何気なく見たテレビの中の、人の生き方、ものの考え方から自分の人生の指針となるものを発見できた喜びが文章から読み取れます。特にエジソンは今でも・・・の文が秀逸です。

かつて読書感想文には、第3類という項目がありました。それは、「伝記」のジャンルだったのですが、応募者の減少で廃止になってしまいました。世界の偉人との出会いによって得た感動を、飾らぬことばで表現しています。

### 「 頑張りたい、勉強 」 1年男子

僕は、今まで勉強は全くしていませんでした。でも、中学校に入ったら母にこう言われました。「これからは毎日1時間は勉強しなさい。」

でも、僕は勉強をしてこなかったのも、何をすればよいのかわかりませでした。しかし、中学に入って、いろいろな事が苦では無くなってきたので、1日に勉強する教科を決めました。まだ集中力がないので二十分ぐらいで勉強が嫌になってしま けれど、集中力を高めて頑張りたいと思います。

評 思いが全て題名に凝縮されています。決して難しい言葉、きれいな言葉を使っているわけでは無いけれど、「思い」の強さや、本人の変容・成長が文章から読み取れます。文章は、自分を見つめ、自分の成長のために、自分の言葉で書くという見本のような作品です。

### 「 台打ちができるまで 」 1年女子

私は卓球部に入りました。しかし、台打ちはしていません。ずっとフットワークと素振りと筋トレをしています。五日に、兄と家で台打ちをしました。しかし、上手くできませんでした。がっかりしました。兄に、「当てにいくな、ちゃんと振れ」と言われました。素振りは、しっかりできるのに、台打ちになるとできなくなってしまいます。

二年生や三年生は、とても上手です。上手なのは、きっと一年生の時にしっかり基礎を身につけているからだと考えました。フットワークと筋トレは辛いけれど、私はがんばりたいと思います。 ※当時、1年生はすぐに卓球台を使って練習をさせてもらえなかった。

評 卓球が上手になりたい。その一念で苦しい練習に立ち向かいながらも、立ち止まって考えながら、新たな一步を踏み出そうとする気持ちが伝わって来ます。「がっかりしました。」の使い方、上手なのは・・・の考え方にすばらしさがあります。中学生時代に自分がそうだったように、思わず応援したくなる作文です。

### 「甘くなかった野球」 2年男子

僕は、五月一日の野球の試合で、「野球は甘くない」と改めて実感しました。その理由は、僕たちのチームは最終回の表には勝っていましたが、監督から、「ここからだ。気を抜くな」と言われました。でも僕は、正直「絶対に勝てる」と思っていました。しかし、最終回に逆転されて負けてしまいました。その瞬間、監督が普段から言っている「野球は甘くない」という言葉をもっとすごく感じました。野球の厳しさを実感させられた試合でした。

評 「体験から学ぶ」事の見本のような作品です。言葉は、体験を通して初めて自分のものになります。言葉の獲得は、認識の獲得であり、感情の獲得でもあります。部活動を通して得た体験を言葉にし、認識や感情を手に入れることができました。

### 「勇気がもつ力」 2年女子

私は連休中の部活動で「勇気がもつ力」について知りました。そのことを知ったのは、チームを二つに分けて行った紅白戦の時でした。2アウトランナー1・2塁の時に私の打順がきました。「ピッチャーの球は速い。私には絶対打てない・・・」私は、こう思いました。そんな気持ちのままバッターボックスに入りました。あきらめていたので、何球も見逃しました。しかし、仲間が「打てるよ」と言って何度も励ましてくれました。すると、私の気持ちは前向きになり、ヒットを打とうとバットを振る勇気が出ました。

評 「5日間の時間は120時間」その時間の中で、弱気で消極的な自分の心が積極的になった瞬間をとらえて表現しています。私にとって価値ある体験を表現するとは、こういう事なのです。書き出しの1行目。心のつぶやき、何球も見逃した事による時間の経過。また仲間の声援による心の変化が見事に表現されています。大人や社会は、とかく結果で物事を判断します。しかし、この作文の値打ちは、ヒットを打ったことでも、勝った事でもないのです。「バットを振る勇気が出た」で終わるところです。

### 「計画通りにできなかった宿題」 2年男子

この休日で大変だったことは、宿題を計画通りにできなかったこと。理由は、休日中に立てた計画が全くできずに、残ってしまった宿題がとても多かったからだ。結局、五日の最終日に全部やることになった。部活動も頑張ったが、それ以上に宿題を終わらせる事は大変だった。夜の九時までかかってしまった。そのうえ、数学と英語はなかなか終わらなくて困った。でも、休日中に終わらせることができ良かった。これからは、立てた計画通りにできるよう頑張りたい。

評 自分の弱みや失敗を表現できることは、心に余裕がある証拠です。誰もが経験のある内容を、素直に自分の言葉で表現できています。「後悔」を後悔という言葉を使わずに表現している点も評価できます。悪戦苦闘している様子、その表情なども読み取れる作文です。

書くことは、自分を見つめ新しい自分、理想の自分を創っていくうえでとても大切な行為です。表現する点で大切なことは、①何を言っているのか。その内容と質、そして、②どのように表現しているかです。表現とは、文章の構成や表現の仕方です。会話・行動・表情・情景描写・語り方等によって作者の心情をありありと表現することができます。また、友人や先輩の作文を読むことでももの見方や考え方を学習することができます。書くことは、自分を見つめ、より良く生きるための術です。

